

2012年度－2019年度（平成24年度-令和元年度）  
「自然首都・只見」学術調査助成金事業 助成研究一覧

年度	研究テーマ	助成研究者 氏名	所属	関連成果等
2012年度 (平成24年度)	山地河畔林における大規模攪乱（平成23年7月新潟・福島豪雨）後の植生更新	崎尾均 本間航介 新国可奈子	新潟大学農学部 新潟大学農学部 新潟大学環境科学専攻流域環境学コース	
	多雪山地の河川流路から斜面にかけての樹木分布パターン	斉藤真人 瓜生真也 酒井暁子	横浜国立大学大学院環境情報学府修士課程 横浜国立大学大学院環境情報学府 横浜国立大学大学院環境情報学府	
	自然林において、ブナが多種に対してより有利に更新しうる環境とはどのようなものか解明する	宮下彩奈	東京大学大学院理学系研究科附属日光植物園	宮下彩奈・館野正樹（2013）日本海側冷温帯林の林床における光利用可能性と葉の純生産量. 只見町ブナセンター紀要2:45-50
	只見地方におけるヒメサユリ個体群の広域分布と生育状況	濱田里子	首都大学東京理工学研究科	大曾根陽子・菊地賢・河原崎里子（2013）只見町におけるヒメサユリ自生地の種組成および植生構造の特性. 只見町ブナセンター紀要2:2-9
		大曾根陽子	首都大学東京理工学研究科	河原崎里子・苫米地聖・掘良通・菊地賢・大曾根陽子（2013）只見地方を中心とした多雪地帯の固有種ヒメサユリと侵入種タカサゴユリの繁殖特性の比較. 只見町ブナセンター紀要2:10-16
	大規模攪乱が山地河畔林に与えた影響とヤナギ科樹種の初期定着過程	崎尾均 本間航介 新国可奈子	新潟大学農学部 新潟大学農学部 新潟大学大学院環境科学専攻	Hitoshi Sakio, Kanako Nikkuni (2014.9) Riparian willow forest regeneration following a large flood. In: Mucina, L., Price, J.N. & Kalwij, J.M. (eds.), Biodiversity and vegetation patterns, processes, conservation, P.182. Kwongan Foundation, Perth, AU. 崎尾均・松澤可奈子（2015）大規模河川攪乱における河畔林の流木捕捉機能. 日本緑化学誌41:391-397
なぜ只見では溪流沿いにもブナが多いのか—年輪から見えること—	斉藤真人 酒井暁子	横浜国立大学大学院環境情報学府 横浜国立大学大学院環境情報学府	斉藤真人・酒井暁子（2014）只見町の5流域における植生分布に地形と積雪深が及ぼす影響. 只見町ブナセンター紀要3:2-9	
ブナ林の維持・再生に係るブナ個体の生育条件の研究 —積雪環境について	宮下彩奈 南野亮子 館野正樹	東京大学大学院理学系研究科附属日光植物園 東京大学大学院理学系研究科附属日光植物園 東京大学大学院理学系研究科附属日光植物園	宮下彩奈・谷友和・館野正樹（2014）山中での積雪深モニタリングの試み. 只見町ブナセンター紀3:23-28	
2013年度 (平成25年度)	ヒメサユリは雪国にどのように適応して生きているのか？	濱田里子 大曾根陽子	首都大学東京理工学研究科 首都大学東京理工学研究科	大曾根陽子・菊地賢・河原崎里子（2014）自然生育地と刈り払いにより維持されている生育地におけるヒメサユリ ( <i>Lilium rubellum</i> ) の個体群構造と繁殖特性の違い. 只見町ブナセンター紀3:10-16 河原崎里子・小川みふゆ・掘良通・菊地賢・大曾根陽子（2014）林床のヤマユリの開花と個体サイズの関係および個体群構造. 只見町ブナセンター紀要3:17-22
只見町の冬虫夏草 ～冬虫夏草からみたブナ林の生物多様性	三田村敏正 貝津好孝 高原豊 吉井重幸 平澤桂	福島生き物探検隊・日本冬虫夏草の会 福島生き物探検隊・日本冬虫夏草の会 福島生き物探検隊・日本冬虫夏草の会 福島生き物探検隊・日本冬虫夏草の会 福島生き物探検隊・日本冬虫夏草の会	三田村敏正・貝津好孝・高原豊・吉井重幸・平澤桂（2014）只見町の冬虫夏草-2013年の調査記録. 只見町ブナセンター紀要3:40-47	
”奥会津要素” クロジクツクバネウツギって何？	加藤英寿	首都大学東京・牧野標本館	加藤英寿・加藤朗子（2015）クロジクツクバネウツギの形態的特徴と分布. 只見町ブナセンター紀要4:7-14	
只見町のいくつかの湖沼の水生物相	首藤光太郎 黒沢高秀	福島大学・共生システム理工学類 福島大学・共生システム理工学類	首藤光太郎・黒沢高秀（2014）只見町のいくつかの湖沼の水生物相. 只見町ブナセンター紀要3:29-39 只見町ブナセンターへ水生植物標本の寄贈	

2012年度－2019年度（平成24年度－令和元年度）  
「自然首都・只見」学術調査助成金事業 助成研究一覧

年度	研究テーマ	助成研究者 氏名	所属	関連成果等
2014年度 (平成26年度)	ユキツバキとヤブツバキは別種なのか？形態と遺伝子から探る種分化	阿部晴恵 三浦弘毅 崎尾均	新潟大学農学部 新潟大学大学院自然科学研究科 新潟大学農学部	
	只見における雪食斜面が溪流沿いに成立する森林の組成や構造に与える影響	酒井暁子 近藤博史 瓜生真也	横浜国立大学大学院環境情報研究院 横浜国立大学大学院環境情報府 横浜国立大学大学院環境情報研究院	
	積雪環境下でのブナの成長	宮下彩奈 館野正樹	東京大学大学院理学系研究科附属日光植物園 東京大学大学院理学系研究科附属日光植物園	宮下彩奈・南野亮子・館野正樹（2015）自然条件下におけるブナ立木の荷重における幹変型（ひずみ）の測定。只見町ブナセンター紀要4:42-46
	只見町より記載された新種タダミハコネサンショウオ	吉川夏彦	国立科学博物館	吉川夏彦（2015）只見町に生息するタダミハコネサンショウオについて。只見町ブナセンター紀要4:2-6 吉川夏彦（2015）最近の日本産ハコネサンショウオ属の分類に関する雑記。両生類誌 27: 1-8
	只見のヒメサユリ — 3年間の調査で明らかになったこと —	大曾根陽子	首都大学東京	大曾根陽子・菊地 賢・渡部和子・河原崎里子（2015）ヒメサユリ(Liliumrubellum)の個体群は3年間でどのように変化したか。只見町ブナセンター紀要4:15-21
	只見町周辺河川におけるヤマメ・イワナの分布特性の把握と環境教育・ESDに向けたフィールド教材開発	棟方有宗 菅原正徳 佐藤源亮	宮城教育大学 かわらばん・宮城県淡水魚類研究会 東北工業大学	
	只見のアリ類 —アリ相の特徴と他地域との類似性—	北出理 諸岡歩希	茨城大学理学部 茨城大学理学部	北出 理・諸岡歩希・岡野拓真・浦山光太郎（2015）只見町のアリ相—2014年採集調査による記録。只見町ブナセンター紀要4:47-51 只見町ブナセンターへアリ標本の寄贈
	フクジュソウの形の多様性とその要因	近藤菜々美 近藤博史 酒井暁子	横浜国立大学理工学部 横浜国立大学大学院環境情報 横浜国立大学環境情報	
	ユネスコエコパークという選択はどのようになされたのか —綾・屋久島・只見の事例から	戸田恵美 湯本貴和	放送大学大学院文化科学研究科 京都大学霊長類研究所	
	形態・生態・遺伝から考えるヤブツバキとユキツバキの種分化	三浦弘毅 崎尾均 阿部晴恵	新潟大学大学院 新潟大学農学部 新潟大学農学部	
2015年度 (平成27年度)	タダミハコネサンショウオの生息状況と集団遺伝学：サンショウオの過去を知り、未来を考える	吉川夏彦	国立科学博物館分子生物多様性研究資料センター	
阿賀野川流域におけるユビソヤナギの分布・生育状況	菊地賢 金指あや子	希少種保全研究会 希少種保全研究会	菊地 賢・金指あや子・鈴木和次郎・中野陽介（2017）阿賀野川流域におけるユビソヤナギの分布とその生育状況。只見町ブナセンター紀要6:30-37	
ブナがダメージを受けると土壌動物の棲みかが増える	吉田智弘 井田秀行	東京農工大学農学部 信州大学教育学部		
只見町の古民家は何の木でつくられているのか？	小寺大地 土本俊和 吉田拓 梅千野成央	信州大学工学部 信州大学工学部 信州大学工学部 信州大学工学部		

2012年度－2019年度（平成24年度-令和元年度）  
「自然首都・只見」学術調査助成金事業 助成研究一覧

年度	研究テーマ	助成研究者 氏名	所属	関連成果等
2016年度 (平成28年度)	ヤブツバキとユキツバキの送粉様式と種子生産の比較	阿部晴恵 片山瑠衣 崎尾均	新潟大学農学部 新潟大学農学部 新潟大学農学部	
	ユネスコエコパーク（BR）只見の現在を綾、屋久島の例を交えて考える	戸田恵美 湯本貴和	放送大学大学院文化科学研究科 京都大学霊長類研究所	
	只見町における高層湿原の分布と群集組成	菊地賢 菊地陽子	希少種保全協会 希少種保全協会	菊地 賢・中野陽介・鈴木和次郎（2019）只見町の湿原植生。只見町ブナセンター紀要7:39-55
	土壤動物の棲みかとしての樹洞 —その形成要因と動物群集の構造	吉田智弘	東京農工大学	
	只見ブナ林の大気汚染環境とブナのストレス診断	斎藤秀之	北海道大学大学院農学研究院	
	只見町における湧水の水質調査	田畑真佐子	東京理科大学薬学部	
	只見町東西に亘る各地域のスズメバチ類の分布状況	榎原寛	日本甲虫学会	牧野俊一・加藤健太・榎原 寛（2019）只見町における誘引トラップによるスズメバチ類の分布調査。只見町ブナセンター紀要7:10-16
2017年度 (平成29年度)	ブナの葉は尾根と谷で異なるのか？—局所スケールにおける樹木形質の変異—	後藤亮仁 近藤博史 酒井暁子	横浜国立大学理工学部 横浜国立大学環境情報研究院 横浜国立大学環境情報研究院	後藤亮仁・近藤博史・酒井暁子（2019）ブナの葉形質に及ぼす地形の効果。只見町ブナセンター紀要7:2-9
	多雪地におけるブナの個体間・個体内での開葉フェノロジー	西坂志帆 酒井暁子	横浜国立大学理工学部 横浜国立大学環境情報研究院	
	中期中新世布沢層の花粉と葉化石から復元する只見の古植生	西田治文 ルグラン・ジュリアン 今川美咲	中央大学理学部 中央大学理学部 中央大学大学院理工学部	只見町ブナセンターへ化石標本の寄贈
	只見町とその周辺地域におけるヒメサユリの遺伝的多様性解析	山本将 黄木裕平 山田結会	明治大学研究・知財戦略機構 明治大学農学部 明治大学農学部	
	只見地域における広葉樹二次林の群集構造と遷移系列	菊地賢 須崎智応 鈴木和次郎	希少種保全研究会 希少種保全研究会 希少種保全研究会	須崎智応・菊地 賢・鈴木和次郎（2019）只見地域における広葉樹二次林の群集構造と土地利用履歴。只見町ブナセンター紀要7:56-72
	只見町の水生昆虫相とその系統地理学的位置づけ	東城幸治 竹中蔭起	信州大学学術研究院理学系 信州大学大学院総合工学系研究科	
	伊南川の河川攪乱がハリエンジュとヤナギ類の分布に及ぼす影響	庭野元気 崎尾均	新潟大学農学部生産環境科学科 新潟大学農学部	
2018年度 (平成30年度)	多雪地ブナ林における個体間・個体内の相対葉群高に応じた開葉日の変化；葉形質に着目して	西坂志帆 酒井暁子	横浜国立大学大学院環境情報学府 横浜国立大学大学院環境情報研究院	
	北限地域におけるヤマグルマ林の群集組成と林分構造	菊地賢 須崎智応 鈴木和次郎	希少種保全研究会 希少種保全研究会 希少種保全研究会	
	只見町の植物資源における機能性物質の探索	目黒周作 桑原隆明	茨城キリスト教大学生生活科学部食物健康科学科 茨城キリスト教大学生生活科学部食物健康科学科	

2012年度－2019年度（平成24年度-令和元年度）  
「自然首都・只見」学術調査助成金事業 助成研究一覧

年度	研究テーマ	助成研究者 氏名	所属	関連成果等
	ハリエンジュとヤナギ類の分布に及ぼす河川環境と生理生態的要因	平山こころ	新潟大学農学部生産環境科学科	
		崎尾均	新潟大学佐渡自然共生科学センター	
	実験下におけるヤマアカガエル幼生とクロサンショウウオ幼生の誘導防衛および誘導攻撃に関する表現型可塑性	清水宏一郎	新潟大学農学部生産環境科学科	
		後藤俊矢	新潟大学農学部生産環境科学科	
	ブナの開葉日はなぜ異なる？—ブナ林内・個体内の葉群高および光環境との関係	阿部晴恵	新潟大学佐渡自然共生科学センター	
		西坂志帆	横浜国立大学大学院環境情報学府	
	ブナの開葉日はなぜ異なる？—ブナ林内・個体内の葉群高および光環境との関係	酒井暁子	横浜国立大学大学院環境情報研究院	
		目黒周作	茨城キリスト教大学生生活科学部食物健康科学科	
2019年度 (令和元年度)	只見町産植物における機能性（抗酸化活性・消化酵素阻害活性）評価	桑原隆明	茨城キリスト教大学生生活科学部食物健康科学科	
		ゲノム分析による只見町ブナ個体群の個体数変化推定	阪口翔太	京都大学大学院 地球環境学堂
	只見町に伝わる生物資源利用に関する伝統的生態学的知識の保全と活用	小柳知代	東京学芸大学	
		松浦俊也	森林総合研究所	
		古川拓哉	森林総合研究所	
		小山明日香	森林総合研究所	
	只見町に自生するトキシウの遺伝的多様性の評価と保全	長尾賢治	京都教育大学教育学部	
		南山泰宏	京都教育大学教育学部	
	只見町におけるアシナガバエの多様性	榎永一宏	滋賀県立琵琶湖博物館	